

--	--	--	--	--

人口減少時代のイノベーション ―どう雇用を開発するか

発見・創造から地域経済活性化へー内発的發展に向けて

～全国の事例に学ぶ「まちづくりのイノベーション」戦略

ー地域経済構造改革をどうデザインするかー

- 「創造性」から地域・資源をイノベーションする
- 地域経済活性化への挑戦 ―頑張る地域のイノベーションの成功と失敗
- 「地域経済構造分析」をベースに地域経済を活性化させ、効果を持続させる具体的手法

2014年8月1日(金) 13:00～16:50 都内会議室 ※受講票の発送時にお知らせします。

【講師陣】 榎並 利博 氏／(株)富士通総研経済研究所主席研究員
電子自治体推進パートナーズ副会長

中村 良平 氏／岡山大学大学院社会文化科学研究科教授
経済産業研究所 ファカルティフェロー

【参加要領】

■ 会 場：都内会議室
※受講票の発送時にお知らせします。

■ 参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	19,000円	18,000円
一 般	29,000円	28,000円

当日参加で申込後にご都合が悪く欠席される場合には、代理の方の出席をお願い致します。

■ 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名: (株)地域科学研究会

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします
(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送します
ので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日
受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2014年 月 日

研修会『発見・創造から地域経済活性化へ』への参加 資料(内発的活性化の実践)購入

勤務先
(請求書等宛先名)

連絡担当者

所在地

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講義内容
13:00	<p>地域イノベーションと創造性</p> <p>(株)富士通総研経済研究所主席研究員 電子自治体推進パートナーズ副会長 榎並 利博氏</p>
14:50	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成長戦略と創造性、地域経済の活性化に向けて 2. 創造性・イノベーションとは何か 3. 一次産業から地域イノベーションを起こす 4. 大学を核として地域イノベーションを起こす 5. ICTを活用した地域経済活性化は成功するか 6. 「エクイティ文化」の重要性と創造性の関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【エクイティ文化】 郷土への愛着を持ち、自主自立の精神で過去と袂を分かち、自らリスクをとってイノベーションに参与していく人々の行動原理。</p> </div> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
	<p>【榎並利博氏プロフィール】 1958年東京生まれ。1981年東京大学文学部考古学卒業。同年富士通(株)入社。システムエンジニアとして、自治体向けシステム開発に従事。1996年(株)富士通総研へ出向。電子政府・電子自治体、行政経営、地域活性化の分野を中心に研究活動を行う。著書に「共通番号(国民ID)のすべて(東洋経済新報社/2010年)」「マイナンバーがやってくる改訂版ー共通番号制度の実務インパクトと対応策(共著/日経BP/2013年)」「地域イノベーションの成功と本質(第一法規/2013)」「番号制度導入・運用のロードマップ(共著/電子自治体推進パートナーズ/2013年)」等多数。</p>

15:00	<p>人口減少時代の「まちづくりのイノベーション」 ～地域経済構造改革をどうデザインするか～</p> <p>岡山大学大学院社会文化科学研究科教授 経済産業研究所 ファカルティフェロー 中村 良平氏</p>
16:50	<ol style="list-style-type: none"> 1. いま、まちの経済は？ 2. まちの経済構造、どこが問題？ 3. まちの経済の成り立ちは？ 4. まちの経済のどこを見る？ —地域経済構造分析の導入 5. 具体的に何をやる？ —地域経済構造分析の実践 6. まちの構造改革に向けて—地域経済構造分析の展開— 7. こうしてまちの経済は変わった！ 8. 変わりつつあるまち (事例研究) <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
	<p>【中村良平氏プロフィール】 1953年香川県高松市生まれ。1977年京都大学工学部衛生工学科卒業、1979年筑波大学大学院修士課程環境科学研究所修士、1984年筑波大学大学院5年制博士課程社会工学研究科修士(学術博士)。日本経済研究所理事。産業経済研究所の「経済グローバル化における持続可能な地域経済の展開」、「持続可能な地域づくり:新たな産業集積と機能の分担政策研究領域」等のプロジェクトに参画。著書に「まちづくり構造改革(日本加除出版/2014年)」「地域産業創生と創造的中小企業(大学教育出版/共著/2004年)」「都市と地域の経済学(有斐閣ブックス/共著/1996年)」等多数。</p>

まちづくり資料シリーズ22

内発型活性化の実践

～開発戦略と行政のリエンジニアリング～

【監修】岡 並木/武蔵野女子大学 教授

山本雄二郎/高千穂商科大学 教授

A4判/310頁/11,650円(本体)/1994年11月1日発行

参加者特価 9,800円(税・送料込)

巻頭グラビア:「まちをいきいきさせる「発見と創造」

第1章 地域活性化の要素 —ポテンシャルの生かし方

Ⅰ 地域資源の発見からはじめたまちづくり (伊藤寛(三春町長))

Ⅱ 「環境」を地域資源として生かした活性化の方策

～時代を読み、場所を読み、人を読む、ランドスケープ～ 上山良子(ランドスケープアーキテクト)

Ⅲ 「さきがけ」のまちづくりのバックボーン

～「本物」志向が生み出すミナト・ヨコハマの魅力～ 若竹肇(横浜下水道局長)

Ⅳ 無限に存在する地域活性化の要素～そのウィークポイント～

山本雄二郎(高千穂商科大学教授)



V. まちづくりの新しいキーワード ～地域ポテンシャル活用への指針～

コーディネーター: 山本雄二郎 パネラー: 伊藤寛/上山良子/岡並木/若竹肇

第2章 個性の発見と豊かさの創造 —内発型活性化に向けて

Ⅰ 「高齢化」は活性化のキーワード ～都市づくりの新しい地平線～ 土屋正忠(武蔵野市長)

Ⅱ まちの個性を見つけ出す眼と心

～内在するポテンシャル～

森まゆみ(エッセイスト、編集者)

Ⅲ 「これっしか」文化の発見と創造

～内在する魅力と活力を生かした地域づくり～

榎村純一(掛川市長)

Ⅳ 「流行言葉」を使わないまちづくり

岡並木(武蔵野女子大学教授)

V. 「パネル討論」個性の発見と豊かさの創造 ～外発から内発への転換方策～

コーディネーター: 岡並木 パネラー: 榎村純一/土屋正忠/森まゆみ/山本雄二郎

追録 地域資源の発見と創造、そして活用の方策

Ⅰ 地域性・独創性のあるまちづくり

～市民ニーズと地域資源の発見・創造からのアプローチ～ 加藤廣(社会計画研究所取締役)

Ⅱ 事例研究: 「量から質へ」のまちづくりーまちづくり映像の役割と効果

～「発見と創造」をキーワードにした映像製作の現場報告～

Ⅲ 「発見と創造」とまちづくり映像 ～15年の歩みにみる映像の効果と可能性～

<編集部>